

消化器センター 消化器内科・消化器外科



診療責任者

いのうえ はるひろ
井上 晴洋 / 特任教授

卒業 山口大学 1983年卒

専門 消化器内視鏡診断学・治療、食道・胃外科学、逆流性食道炎、アカラシア

資格 日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、日本消化器病学会：専門医・指導医、日本外科学会：認定医・外科専門医・指導医、日本消化器外科学会：認定医・専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、日本内視鏡外科学会：技術認定医、日本食道学会：食道科認定医・食道外科専門医・評議員、日本消化管学会：代議員、米国内視鏡外科学会（SAGES）名誉会員、ドイツ内視鏡放射線学会（DGVGE）名誉会員

1

快適な内視鏡検査を提供します

安全性の高い鎮静剤を使用して内視鏡検査を行っています。当院で行ったアンケート調査では、苦しいと言われる上部内視鏡検査で87% (2,993/3,437)、痛いと言われる下部内視鏡検査でも、87% (2,187/2,524) の患者が明らかに快適（完全無痛）であったと回答しました。苦痛も少なく鎮静剤からの目覚めもよい「快適な内視鏡検査」を提供しています。

また、平日が仕事で忙しい方は、土日祝日にも検査を受けることができます。

さらに、当院には多くの女性内視鏡専門医もおり、女性の方が検査を受けられる際に希望があれば女性医師が担当することもできます。

2

機能性疾患も得意としています

2007年がん対策基本法が施行され、がん診療は日々進歩しており、どの施設で良質の診療を受けられるようになっていきます。早期がんに対する内視鏡治療ESDも私共の最も得意な治療法の1つです。

一方で胸焼けや便秘などの機能性疾患については、その専門病院は決して多いとは言えません。当院ではこの領域も得意としております。独自の診断・治療法（アカラシアに対するPOEM法、GERDに対するARMA法）を世界に先立って開発し、患者さんに低侵襲治療を提供し続けています。

3

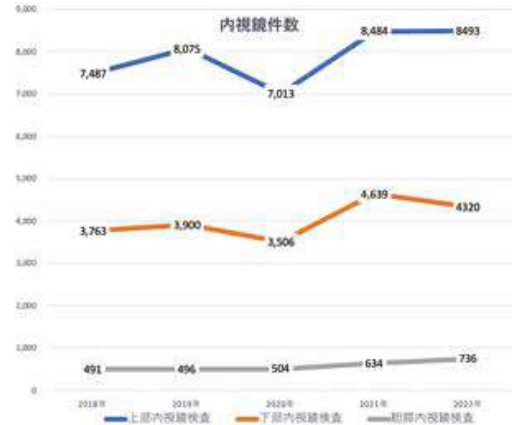
腹腔鏡を用いた低侵襲外科治療も行っています

2014年の開院以来、「内科医と外科医の共同受け持ちチーム」を行っています。低侵襲治療を提供するために患者さんの病状を考え、内視鏡治療から低侵襲外科治療を行っています。低侵襲外科治療として、食道がん・胃がん・大腸がん・胆石症・肝臓がん・鼠径ヘルニアなど積極的に腹腔鏡を用いた低侵襲治療を行っています。

対応疾患

食道疾患（食道癌、食道-胃接合部癌、食道アカシア、逆流性食道炎、食道粘膜下腫瘍）、胃・十二指腸疾患（胃癌、GIST、萎縮性胃炎、出血性胃・十二指腸潰瘍）、小腸・大腸疾患（大腸癌、炎症性腸疾患、憩室出血、大腸ポリープ）、肝疾患（ウイルス肝炎、肝硬変、肝癌、食道胃静脈瘤、難治性腹水、自己免疫性肝疾患、ウィルソン病など代謝性肝疾患、肝膿瘍）、胆膵疾患（胆石症、総胆管結石、急性膵炎、急性胆管炎、膵臓癌、胆道癌）。

診療実績



スタッフ



よこやま のぼる
横山 登 / 教授・病院長

卒業 昭和大学（1990年卒）

専門 大腸肛門外科学、内視鏡外科学、消化器癌化学療法

資格 日本外科学会：専門医・指導医・代議員、日本消化器外科学会：認定医・専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、日本臨床外科学会：学会評議員、日本消化器病学会：専門医、日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、学術評議員、関東支部会評議員、査読委員、日本消化管学会：胃腸科専門医・指導医、日本がん治療認定医機構：暫定教育医、日本外科感染症学会：ICD認定医、学会評議員、日本経腸栄養学会：TNT認定医、日本生活習慣病学会：認定指導医、学会評議員、日本腹部救急医学会：学会評議員、査読委員、認定指導医、International Society of Surgery (ISS) / Societe International de Chirurgie (SIC) : Full Member



いとう たかよし
伊藤 敬義 / 教授

卒業 昭和大学（1991年卒）

専門 消化器・肝臓疾患

資格 日本内科学会：認定医・総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会：専門医・指導医、関東支部評議員・学会評議委員、日本肝臓学会：肝臓専門医・指導医、東部会評議委員、日本消化管学会：胃腸科専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会：内視鏡専門医、日本医師会：産業医、日本ウイルス学会、厚生労働省医政局：指導医講習会修了、東京都難病指定医、日本医師会認定産業医



うらがみ なおゆき
浦上 尚之 / 准教授

卒業 昭和大学（1993年卒）

専門 消化器内視鏡診断学、消化器内視鏡治療

資格 日本内科学会：認定医・総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会：専門医・指導医、関東支部評議員・学会評議員、日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、関東支部評議員・学術評議員、日本消化管学会：胃腸科専門医・指導医、日本医師会認定産業医



でくち よしお
出口 義雄 / 准教授

卒業 新潟大学（1993年卒）

専門 消化器・一般外科学、肝胆膵外科、内視鏡外科

資格 日本外科学会：専門医・指導医、日本消化器外科学会：専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、日本肝胆膵外科学会：高度技能指導医・評議員、日本内視鏡外科学会：技術認定医・評議員、日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、がん治療認定医機構：がん治療認定医、厚生労働省医政局：指導医講習会修了、厚生労働省健康局：医師緩和研修会修了、日本医師会認定産業医

スタッフ



えぐち じゅんいち
江口 潤一 / 准教授

卒業 昭和大学 (1997年卒)

専門 消化器・肝臓疾患

資格 日本内科学会：認定医・総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会：専門医・指導医、関東支部評議員、日本肝臓学会：肝臓専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、日本消化管学会：胃腸科専門医・指導医、日本癌学会、日本医療マネジメント学会、厚生労働省医政局：指導医講習会修了、東京都難病指定医



おにまる まなぶ
鬼丸 学 / 講師

卒業 九州大学 (2000年卒)

専門 消化器内視鏡診断学・治療、食道・胃外科学、内視鏡外科学、消化器・一般外科学、緩和治療・緩和ケア

資格 日本外科学会：認定医・専門医・指導医、日本消化器外科学会：専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、日本内視鏡外科学会：技術認定医 (消化器・一般外科)、日本消化器病学会：専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、関東支部評議員、日本消化管学会：胃腸科専門医・胃腸科指導医、日本がん治療認定医機構：がん治療認定医、日本食道学会：食道科認定医、日本胃癌学会、日本臨床外科学会、厚生労働省健康局：医師緩和ケア研修会修了、厚生労働省医政局：指導医講習会修了



うしお じゅん
牛尾 純 / 講師

卒業 昭和大学 (2000年卒)

専門 胆膵内視鏡診断・治療

資格 日本内科学会：認定医、日本消化器学会：専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、日本膵臓学会：指導医、日本胆道学会：指導医、東京都難病指定医、小児慢性特定疾患指定医



のむら けんじ
野村 憲弘 / 講師

卒業 昭和大学 (2001年卒)

専門 肝疾患・ウイルス肝炎、肝硬変 (難治性腹水、肝性脳症、食道胃静脈瘤)、肝癌、消化器内視鏡診断学・治療

資格 日本内科学会：認定医・総合内科専門医、日本消化器病学会：専門医・指導医・関東支部評議員、日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、日本肝臓学会：専門医、日本がん治療認定医、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、日本肝癌研究会、厚生労働省医政局：指導医講習会修了、厚生労働省健康局：医師緩和ケア研修会修了、東京都難病指定医



ほぼ たかひろ
保母 貴宏 / 講師

卒業 東京医科大学 (2005年卒)

専門 消化器内視鏡診断学・治療、消化器・一般外科学、大腸肛門外科学

資格 日本外科学会：専門医、日本消化器病学会：専門医、日本消化器外科学会：専門医、消化器がん外科治療認定医、日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、関東支部会評議員、日本外科感染症学会：ICD認定医、日本がん治療認定医機構：認定医、検診マンモグラフィ読影：認定医、厚生労働省健康局：医師緩和ケア研修会修了、厚生労働省医政局：指導医講習会修了



まつお かい
松尾 海 / 講師

卒業 昭和大学 (2006年卒)

専門 消化器内視鏡診断学・治療、消化器・一般外科学、大腸肛門外科学

資格 日本外科学会：専門医、日本消化器外科学会：専門医、日本消化器病学会：専門医、日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医・関東支部評議員、厚生労働省健康局：医師緩和ケア研修会修了、厚生労働省医政局：指導医講習会修了、栄養サポートチーム (NST) 医師 (静脈経腸栄養学会TNTセミナー・外科代謝栄養学会NST医師教育セミナー修了)



いそぎき まさゆき
磯崎 正典 / 講師

卒業 聖マリアンナ医科大学 (2007年卒)
専門 食道・胃外科学、大腸肛門外科学、消化器・一般外科学、内視鏡外科学
資格 日本外科学会：専門医、厚生労働省医政局：指導医講習会修了

氏名	卒業	専門	資格
助教 角 一弥 (すみ かずや)	新潟大学 (2007年卒)	消化器内視鏡診断学・治療、胆膵内視鏡治療学	日本内科学会：認定医・総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会：専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、関東支部評議員・学術評議員、厚生労働省健康局：医師緩和ケア研修会修了、厚生労働省医政局：指導医講習会修了
助教 大和田 薫里 (おおわだ かおり)	東京医科歯科大学 (2008年卒)	日本内視鏡外科学、消化器一般学	日本医師会認定産業医
助教 田邊 万葉 (たなべ まよ)	鹿児島大学 (2009年卒)	消化器内視鏡診断学・治療・大腸肛門学、炎症性腸疾患	日本内科学会：認定医・総合内科専門医、日本消化器病学会：専門医、日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、関東支部評議員・学術評議員、女性内視鏡医キャリアサポート委員会委員、日本肝臓学会：専門医、日本カプセル内視鏡学会：認定医、日本ヘリコバクター学会：H.pylori (ピロリ菌) 感染症認定医、東京都難病指定医、小児慢性特定疾患指導医、東京都身体障害者福祉法指導医、厚生労働省医政局：指導医講習会修了
助教 田邊 太郎 (たなべ たろう)	東京慈恵会医科大学 (2009年卒)	大腸癌および炎症性腸疾患、肛門疾患	日本外科学会：専門医、日本消化器外科学会：専門医、日本がん認定医機構：がん治療認定医
助教 島村 勇人 (しまむら ゆうと)	信州大学 (2009年卒)	消化器内視鏡診断学・治療	日本内科学会：認定医・総合内科専門医、日本消化器病学会：専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、関東支部評議員・学術評議員、日本肝臓学会：専門医、日本カプセル内視鏡学会：認定医、厚生労働省医政局：指導医講習会修了、厚生労働省健康局：医師緩和ケア研修会修了
助教 川崎 佑輝 (かわさき ゆうき)	自治医科大学 (2009年卒)	肝胆膵腫瘍の診断・内視鏡治療	日本内科学会：認定医・総合内科専門医、日本消化器病学会：専門医
助教 YAKÉFUJIANG ABUDUREXITI (ヤクフジヤング アブドゥルシディ)	新疆医科大学 (2009年卒)	消化器・一般外科	
助教 末永 明子 (すえなが あきこ)	愛媛大学 (2010年卒)	消化器内視鏡診断学・治療・炎症性腸疾患	日本内科学会：認定医・総合内科専門医、日本消化器病学会：専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会：専門医・指導医、関東支部評議員・学術評議員、日本カプセル内視鏡学会：認定医、日本ヘリコバクター学会：H.pylori (ピロリ菌) 感染症認定医、厚生労働省医政局：指導医講習会修了、厚生労働省健康局：医師緩和ケア研修会修了、嚥下機能評価研修会修了、東京都難病指定医、小児慢性特定疾患指定医、東京都身体障害者福祉法指導医
助教 小城原 傑 (おぎはら すぐる)	昭和大学 (2011年卒)	消化器・一般外科学、消化器内視鏡診断学・治療・緩和治療・緩和ケア	日本外科学会：専門医、日本緩和医療学会：緩和医療認定医、日本緩和医療学会：認定施設研修指導者
助教 田中 一平 (たなか いっぺい)	順天堂大学 (2011年卒)	消化器内視鏡診断学・治療	日本内科学会：認定医、日本消化器病学会：専門医、日本消化器内視鏡学会：専門医
助教 面高 俊祐 (おもたか しゅんすけ)	帝京大学 (2012年卒)	消化器・一般外科学	日本外科学会：専門医
助教 西川 洋平 (にしがわ ようへい)	滋賀医科大学 (2012年卒)	消化器内視鏡診断学・治療・消化器一般(上部消化管領域)、内視鏡治療学(EMR、ESD、POME)	日本内科学会：認定医、日本消化器病学会：専門医、日本消化器内視鏡学会：専門医、日本肝臓学会：専門医
助教 徳永 良太 (とくなが りょうた)	福岡大学 (2012年卒)	消化器・一般外科学	日本外科学会：専門医
助教 望月 裕一朗 (もちづき ゆういちろう)	金沢医科大学 (2013年卒)	消化器一般(下部消化管領域、炎症性腸疾患)、消化器内視鏡診断学・治療	日本内科学会：認定医、日本消化器病学会：専門医、日本消化器内視鏡学会：専門医
助教 柴田 悠樹 (しばた ゆうき)	昭和大学 (2014年卒)	消化器内視鏡診断学・治療・消化器一般	日本内科学会：認定医、日本消化器病学会：専門医、日本肝臓学会：専門医
助教 石田 幸子 (いしだ さちこ)	昭和大学 (2014年卒)	消化器一般・外科学	日本外科学会：認定医、日本ヘリコバクター学会：H.pylori (ピロリ菌) 感染症認定医
助教 藤吉 祐輔 (ふじよし ゆうすけ)	昭和大学 (2014年卒)	消化器内視鏡診断学・治療学	日本内科学会：認定医、日本消化器病学会：専門医、日本消化器内視鏡学会：専門医
助教 國田 康輔 (くにた こうすけ)	昭和大学 (2014年卒)	消化器内視鏡診断学・治療・消化器一般	日本内科学会：認定医
助教 北條 真鈴 (ほうじょう まりん)	杏林大学 (2015年卒)	消化器・一般外科学	日本外科学会：認定医

	氏名	卒業	専門	資格
助教	やまもと かずき 山本 和輝	滋賀大学 (2015年卒)	消化器内視鏡診断学・治療	日本内科学会：認定医・総合内科専門医、日本消化器病学会：専門医、日本消化器内視鏡学会：専門医、日本肝臓学会：専門医、厚生労働省健康局：医師緩和ケア研修会修了
助教	かとう ひさき 加藤 久貴	昭和大学 (2016年卒)	消化器内視鏡診断学・治療	日本内科学会：内科専門医
助教	ふくだ まい 福田 舞	富山大学 (2016年卒)	消化器内視鏡診断学・治療	日本内科学会：内科専門医
助教	しおみ だいじろう 汐見 大二郎	福井大学 (2017年卒)	消化器一般	日本内科学会：内科専門医
助教	うしくぼ けい 牛久保 慧	札幌医科大学 (2017年卒)	消化器一般	日本内科学会：内科専門医
助教	きし ゆみ 岸 優美	日本大学 (2017年卒)	消化器一般	
助教	てるぬま たくや 照沼 拓也	獨協医科大学 (2017年卒)	消化器・一般外科学	
助教	ちば せいや 千葉 誠也	昭和大学 (2017年卒)	消化器・一般外科学	
助教	たかの ゆみか 高野 弓加	信州大学 (2017年卒)	消化器・一般外科学	
助教	こまがた あきのり 駒形 明紀	川崎医科大学 (2017年卒)	消化器一般	
助教	かかず とほあき 嘉数 朝亮	聖マリアンナ医科大学 (2018年卒)	消化器一般	
助教	とよだ よういち 豊田 陽一	帝京大学 (2018年卒)	消化器一般	
助教	さかい とおる 酒井 透	杏林大学 (2018年卒)	消化器・一般外科学	
助教	いとう しょうたろう 伊藤 翔太郎	昭和大学 (2019年卒)	消化器一般	
助教	くれ まさよし 呉 将禎	東邦大学 (2019年卒)	消化器一般	
助教	おかだ ゆきこ 岡田 幸子	東京女子医科大学 (2019年卒)	消化器一般	
助教	なかむら ほとか 中村 初香	聖マリアンナ医科大学 (2019年卒)	消化器一般	
助教	かさぎ しんや 笠木 紳矢	福岡大学 (2019年卒)	消化器・一般外科	
助教	きむら ひろのぶ 木村 熙伸	帝京大学 (2019年卒)	消化器・一般外科	
助教	かねこ たかし 金子 卓嗣	センメルワイス大学 (2018年卒)	消化器・一般外科	
助教	おひめま しんいちろう 生沼 慎一郎	獨協医科大学 (2019年卒)	消化器・一般外科	
助教	にしやし なほ 西林 奈保	藤田保健衛生大学 (2018年卒)	消化器・一般外科	
助教	むらおか みきお 村岡 幹夫	弘前大学 (2020年卒)	消化器一般	
助教	おかの たかひこ 岡野 貴彦	昭和大学 (2020年卒)	消化器・一般外科	
助教	わごう あやか 若生 彩佳	昭和大学 (2020年卒)	消化器・一般外科	
助教	さくらい とちな 櫻井 友渚	東京慈恵会医科大学 (2020年卒)	消化器一般	
助教	おぎき みゆ 尾崎 美優	大分大学 (2021年卒)	消化器一般	
助教	さとう とみや 佐藤 友哉	埼玉医科大学 (2021年卒)	消化器一般	
助教	みやげ たかひろ 三宅 隆裕	慈恵会医科大学 (2021年卒)	消化器一般	
助教	やまぐち みちまさ 山口 倫昌	埼玉医科大学 (2021年卒)	消化器一般	
助教	やまうち みき 山内 美樹	昭和大学 (2021年卒)	消化器・一般外科	
助教	あんどう ひろすけ 安藤 熙典	昭和大学 (2021年卒)	消化器・一般外科	

昭和大学外科

昭和大学病院

都内の大学病院で、アカデミアの息吹を感じながら、
『至誠一貫』の建学の精神のもと、外科医としての一步を一緒に始めましょう!

- ・昭和大学4病院を拠点とした、東京都内・横浜の都心で、アカデミックな最先端医療に触れながら、教育機関でもある大学に在籍する医学生も交えた多くの職種が集う中、チームの一員として、手術を基軸に、専門医取得を目指すプログラムです。
- ・地域の中核病院として、高難度な手術にも関わり、多くの症例が集まるハイボリュームセンターでの研修は、外科医として実力を蓄え、将来大きく羽ばたく上で、市中病院にないメリットです。
- ・最初は助手として症例経験を積み、解剖・術野展開・器具の使い方を学びますが、実力に応じ、大学病院において、術者として患者さんへの手術を行うことは、ほかに変えがたい経験となるはずで。
- ・術前術後の周術期管理も大事な外科医の仕事です。輸液・抗生剤・ドレーン管理など、学ぶべき知識・手技は数多くあり、手術と併せて研修を積むことができます。
- ・教授をはじめとした上級学年の、研究者としての側面に触れることも、大学病院での研修だからこそ感じられる特権です。
- ・医療の原点である患者さん first の治療・対応を心掛け、医療者としての使命を忘れず、世界をリードする外科医に育ててもらえることを願っています。
- ・もちろん大変なこともあります。同時に、責任感・やりがい・そして喜びもあります。ぜひ、本プログラムの研修を通し、一緒に働きましょう!



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

日本外科学会専門医	55名	日本心臓血管外科修練指導医	5名	日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医	4名
日本消化器外科学会専門医	22名	日本循環器学会専門医	2名	日本気管食道科学会専門医	2名
日本消化器内視鏡学会専門医	16名	胸部ステントグラフト (cTAG) 指導医	3名	日本気胸・嚢胞性肺疾患学会評議員	2名
日本消化器病学会専門医	12名	胸部ステントグラフト (cTAG) 実施医	4名	呼吸器外科専門医合同委員会認定呼吸器外科専門医	5名
日本大腸肛門病学会専門医	2名	腹部ステントグラフト (ENDURANT II) 指導医	3名	日本小児外科学会専門医	5名
日本消化管学会専門医	1名	腹部ステントグラフト (ENDURANT II) 実施医	4名	日本小児外科学会指導医	2名
日本肝臓学会専門医	7名	腹部ステントグラフト (Excluder) 指導医	3名	日本静脈経腸栄養学会指導医	1名
日本食道学会認定医	5名	腹部ステントグラフト (Excluder) 実施医	4名	日本乳癌学会乳癌専門医	11名
日本食道学会食道外科専門医	3名	下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施医	2名	日本臨床腫瘍学会暫定指導医	1名
日本肝胆膵外科学会評議員	11名	尿管専門医	3名	日本がん治療認定医機構暫定教育医	4名
日本肝胆膵外科学会高度技能医	3名	日本呼吸器学会 専門医・指導医	1名	日本がん治療認定医機構 認定医 *	1名
日本腹部救急医学会暫定教育医	4名	日本呼吸器外科学会 専門医	5名	ICD 認定医	7名
日本臨床腎移植学会専門医	1名	日本呼吸器外科学会 評議員	2名	日本遺伝性腫瘍学会専門医	5名
日本透析学会専門医	1名	日本胸部外科学会指導医	3名	TAVR(経カテーテル大動脈弁移植術)実施医 (Sapient)	2名
日本再生医療学会再生医療認定医	1名	日本胸部外科学会認定医	2名	TAVR(経カテーテル大動脈弁移植術)指導医 (Sapient)	1名
消化器がん外科治療認定医	21名	身体障害者指定医 (呼吸器機能障害)	2名	TAVR(経カテーテル大動脈弁移植術)実施医 (Core)	1名
日本心臓血管外科専門医	6名	肺がん CT 検診認定機構認定医師	2名	TAVR(経カテーテル大動脈弁移植術)指導医 (Core)	1名

※基幹施設の専門医・指導医数 *乳癌外科 10名

(指導医を含む)

専門研修指導医数

消化器外科	21名	呼吸器外科	6名	乳腺内分泌外科	13名
心臓血管外科	8名	小児外科	3名	その他 (救急など)	21名



研修実施責任者
 消化器・一般外科学講座
 教授 **青木 武士**

プログラム名 昭和大学病院外科専門医研修プログラム
 研修期間 3年

問い合わせ先

担当者 昭和大学医師臨床研修センター
 事務室事務課専攻医・連携病院係
 TEL 03-3784-8299
 FAX 03-3784-8276
 E-mail s-senkoui@ofc.showa-u.ac.jp

各種学会施設認定

日本外科学会 日本呼吸器外科学会 日本食道学会
 日本消化器外科学会 日本乳癌学会 日本肝胆膵外科学会
 日本心臓血管外科学会 日本小児外科学会 日本大腸肛門病学会
 日本胸部外科学会
 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設認定
 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構規定基幹施設認定
 経皮的僧帽弁接合不全修復システム実施施設認定
 経カテーテルの大動脈弁置換術実施施設 ほか

主な専門研修連携施設

昭和大学江東豊洲病院、昭和大学横浜市北部病院、昭和大学藤が丘病院、都立荏原病院、山梨赤十字病院、亀田総合病院、茨城県立中央病院、聖隷浜松病院、小田原市民病院、牧田総合病院、ひたち医療センター、江東病院、戸塚共立第1病院、城山病院、菊名記念病院、第三北品川病院、朝霞中央総合病院、田園調布中央病院、丸山記念病院、山王台病院、TMG あさか医療センター、川崎協同病院



専攻医育成コースの概略

年数	R1年次	R2年次	S1年次最初の3か月間	S1年次4か月目～S2年次6か月目	S2年次7か月目～S3年次	専攻医終了後～
外科専攻医プログラム	臨床研修(2年間) *この間の症例もカウント可能		入局先で研修	昭和大学病院 or 昭和大学豊洲病院 or 関連施設	入局先で研修	研修基準クリアすれば 専門医試験受験へ (→合格すれば 日本外科学会専門医取得)

サブスペシャリティ領域
 などの専門医連動可

大学院修練連動
 (入局先の状況による)

専攻医の研修期間

・外科専門医は臨床研修修了後、3年(以上)の専門研修で育成されます。3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で、それぞれ6か月以上の研修を行います。

*研修プログラムの修了判定には規定の経験症例数が必要です(専攻医研修マニュアル-経験目標2-を参照)。

年次ごとの専門研修計画

・専攻の研修は、毎年の達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次ごとの研修内容・習得目標の目安を示します。
 ・専門研修1年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的に開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。
 ・専門研修2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知

識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医は、さらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。

・専門研修3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得によりさまざまな外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。カリキュラムを習得したと認められる専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。
 *習得すべき専門知識や技能は専攻医研修マニュアルを参照してください。

地域医療の経験

・地域の連携病院では責任を持って多くの症例を経験することができます。また、地域医療における病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療などの意義について学ぶことができます。
 ・本研修プログラムの連携施設には、その地域における地域医療の拠点となっている施設(地域中核病院、地域中小病院)が入っています。そのため、連携施設での研修中に以下の地域医療(過疎地域も含む)

の研修が可能です。
 ・地域の医療資源や救急体制について把握し、地域の特性に応じた病診連携、病病連携のあり方について理解して実践します。
 ・消化器がん患者の緩和ケアなど、ADLの低下した患者に対して、在宅医療や緩和ケア専門施設などを活用した医療を立案します。

サブスペシャリティ領域などの専門医資格と連動

・原則、外科専門研修を修了し、外科専門医資格を習得した後、サブスペシャリティ領域専門医研修の開始となりますが、領域によっては専

攻医研修期間中の症例もカウントの対象となる領域もあります(サブスペシャリティ領域連動型)。

大学院研修

・専門研修期間中も、入局先の状況にもよりますが、今まで大学院に所属していた場合や今後将来大学院へ進みたい場合は、規定の年数

のカウント以下に、臨床研究を並行することも可能です。



プログラムの魅力

< 1週間の流れ >

a) 基幹施設（昭和大学病院 消化器・一般外科 例）

		月	火	水	木	金	土	日
7:30 ~	抄読会、ビデオカンファレンス							
8:00 ~	病棟業務							
9:00 ~	手術							
9:00 ~	内視鏡検査							
9:00 ~	超音波検査							
8:30 ~ 10:30	総回診							
17:00 ~	Cancer Board							
17:30 ~	外科術前カンファレンス							

b) 連携施設（昭和大学豊洲病院 心臓血管外科 例）

		月	火	水	木	金	土	日
7:30 ~	抄読会							
7:30 ~	ハートチームカンファレンス							
7:30 ~	麻酔科合同カンファレンス							
7:30 ~	術前カンファレンス							
8:45 ~	ICU回診							
9:00 ~	手術・病棟業務							
9:30 ~	病棟総回診							

c) 連携施設（江東病院 例）

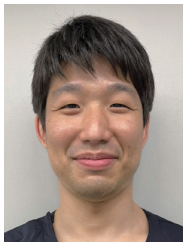
		月	火	水	木	金	土	日
8:00 ~	勉強会							
8:30 ~	朝カンファレンス							
8:45 ~	病棟カンファレンス							
9:00 ~	病棟業務							
9:00 ~	手術							
9:00 ~ 11:45	午前外来							
13:00~16:30	午後外来							
9:00 ~ 12:00	午前内視鏡検査							
13:00~16:30	午後内視鏡検査							
13:00 ~	午後カンファレンス							
17:00 ~	夕方カンファレンス							
12:00 ~	病理合同カンファレンス (月 1 回)							
16:00 ~	消化器内科合同カンファレンス							

< 年間行事 >

月	全体行事予定 (予定)
4 月	外科専門研修開始。専攻医および指導医に提出用資料の配布 (昭和大学ホームページ)・日本外科学会参加 (発表)
5 月	研修修了者：専門医認定審査申請・提出
7 月	日本消化器外科学会参加 (発表)
8 月	研修修了者：専門医認定審査 (筆記試験・面接)
11 月	臨床外科学会参加 (発表)
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻医：研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙の作成 (年次報告) (書類は翌月に提出) ・専攻医：研修プログラム評価報告用紙の作成 (書類は翌月に提出) ・指導医・指導責任者：指導実績報告用紙の作成 (書類は翌月に提出)
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・その年度の研修修了・専攻医：その年度の研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙を提出 ・指導医・指導責任者：前年度の指導実績報告用紙の提出 ・研修プログラム管理委員会開催

- ・基幹施設および連携施設それぞれにおいて、毎日の病棟でのチームカンファレンスを通じ、医師および看護スタッフによる治療および管理方針の症例検討会を行い、専攻医は積極的に意見を述べ、同僚の意見を聴くことにより、具体的な治療と管理の論理を学びます。
- ・Cancer Board：複数の臓器に広がる進行・再発例や、重症の内科合併症を有する症例、非常に稀で標準治療がない症例などの治療方針決定について、内科など関連診療科、病理部、放射線科、緩和、看護スタッフなどによる合同カンファレンスを行います。
- ・基幹施設と連携施設による症例検討会：各施設の専攻医や若手専門医による研修発表会を年3回程度、大学内の施設を用いて行い、発表内容、スライド資料の良否、発表態度などについて指導的立場の医師や同僚・後輩から質問を受けて討論を行います。
- ・各施設において抄読会や勉強会を実施します。専攻医は最新のガイドラインを参照するとともにインターネットなどによる情報検索を行います。
- ・メジャー疾患のみならず、マイナー疾患にも対応しており若手外科医における修練の場を提供しています。
- ・ドライラボでの結紮講習をはじめ、大動物を用いたトレーニング設備や教育DVDなどを用いて、積極的に手術手技を学びます。
- ・日本外科学会の学術集会(特に教育プログラム)、e-learning、その他各種研修セミナーや各病院内で実施される医療倫理を含めた外科医としての礎を学び積極的に、各領域における全国規模の学会での発表を行い学術的支援をしています。
- ・その他、標準的医療および今後期待される先進的医療、医療倫理、医療安全、院内感染対策についても学びます。

専攻医からのメッセージ



2020年度専攻医
昭和大学病院外科
専門医研修プログラム
昭和大学病院消化器・一般外科

渡邊 健

昭和大学卒業
昭和大学病院臨床研修修了

研修を開始してから、約2年が経ちました。消化器・一般外科に入局し、最初の3か月で外科の基礎を学び、その後は乳腺外科、小児外科、呼吸器外科、心臓血管外科、救急診療科、関連施設の消化器センター、茨城県石岡市での地域研修を経て現在に至ります。各科や各施設では丁寧な指導体制が整っており、症例数についても偏りがないように配慮がなされています。見学などいまして、昭和大学の雰囲気を感じてみてはいかがでしょうか。

経験症例

【2022年4月現在 研修開始2年0か月時点】 a)消化器外科経験症例数：245症例 / 必要症例数50症例 b)乳腺外科経験症例数：19症例 / 必要症例数10症例 c)呼吸器外科経験症例数：15症例 / 必要症例数10症例 d)心臓・大血管外科経験症例数：14症例 / 必要症例数10症例 e)小児外科経験症例数：22症例 / 必要症例数10症例 f)末梢血管外科経験症例数：10症例 / 必要症例数10症例 g)頭頸部・体表・内分泌外科経験症例数：22症例 / 必要症例数10症例 h)外傷経験症例数：10点 / 必要症例数10点 i)学会・論文発表数：150単位 / 必要症例数20単位



2020年度専攻医
昭和大学病院外科
専門医研修プログラム
昭和大学病院乳腺外科

吉田 伶香

昭和大学卒業
昭和大学大学院医学研究科
医学専攻博士

昭和大学卒業後、昭和大学病院で臨床研修を2年、その後当病院で外科専攻医として3年目になります。当病院のプログラムは外科専門医に必要なすべての症例を経験できるようにローテーションが組まれています。さらに私の場合、並行して昭和大学大学院で研究することができ、昨年度末に修了することができました。大学病院ならではの研究と臨床の機会がある当病院で、一緒に働ける日を楽しみにしています。

経験症例

【2022年4月現在 研修開始2年0か月時点】 a)消化器外科経験症例数：156症例 / 必要症例数50症例 b)乳腺外科経験症例数：98症例 / 必要症例数10症例 c)呼吸器外科経験症例数：19症例 / 必要症例数10症例 d)心臓・大血管外科経験症例数：11症例 / 必要症例数10症例 e)小児外科経験症例数：25症例 / 必要症例数10症例 f)末梢血管外科経験症例数：10症例 / 必要症例数10症例 g)頭頸部・体表・内分泌外科経験症例数：20症例 / 必要症例数10症例 h)外傷経験症例数：25症例 / 必要症例数10症例 i)学会・論文発表数：30単位 / 必要症例数20単位



2021年度専攻医
昭和大学病院外科
専門医研修プログラム
昭和大学江東豊洲病院
心臓血管外科

尾仲 紘輔

昭和大学卒業
昭和大学藤が丘病院
臨床研修修了

当大学の外科研修の特徴として、外科専門医取得に必要な消化器、呼吸器、心血管、乳腺、小児の各科ローテーションを短期集中で効率的に行い、かつ必要十分な症例数を経験した上で、外科研修期間の半分以上を各専攻科の研修に充てられる点が挙げられます。外科医に必要な多方面での外科研修の時間と、各科の専門研修に専念する時間がバランスよく確保され、ストレスなく修練が行える恵まれたプログラムです。

経験症例

【2022年4月現在 研修開始1年0か月時点】 a)消化器外科経験症例数：100症例 / 必要症例数50症例 b)乳腺外科経験症例数：24症例 / 必要症例数10症例 c)呼吸器外科経験症例数：16症例 / 必要症例数10症例 d)心臓・大血管外科経験症例数：92症例 / 必要症例数10症例 e)小児外科経験症例数：13症例 / 必要症例数10症例 f)末梢血管外科経験症例数：19症例 / 必要症例数10症例 g)頭頸部・体表・内分泌外科経験症例数：12症例 / 必要症例数10症例 h)外傷経験症例数：10症例 / 必要症例数10症例 i)学会・論文発表数：40単位 / 必要症例数20単位



昭和大学病院 心臓血管外科



江東豊洲病院 心臓血管外科



小児外科



乳腺外科



呼吸器外科



江東豊洲病院 消化器外科



昭和大学病院 消化器外科